



撮影 / 清水省吾



富山市内環状線化工事中

けなるいのー……

関連記事 3ページ

## 活動報告

11月21日 中部地区路面電車サミット富山大会  
28日 REF30周年記念講演  
12月5日  
人と環境に優しい交通をめざす全国大会(東京)  
18日 ROBA例会・理事会 忘年会

## 今後の予定

12月20日(日)  
福井市都市計画マスタープラン説明会  
12月25日(金)  
地域公共交通コーディネーター会議(名古屋)  
1月未定 臨時理事会  
1月15日(金) ROBA例会・理事会

## ゆうじんの部屋 書籍紹介

都市計画家 石川栄耀(副題)都市探求の軌跡  
中島直人ほか 鹿島出版会 4800円+税  
ISBN978-4-306-09396-6 C0052

歴史を事件の羅列で勉強するより、人物列伝を読むほうがおもしろい。おそらく、日本都市計画史はじめての人物伝がこの本ではないか。とにかく、現在旬となっているソフト系のまちづくりが、戦前から問題意識を持ってとりこんでいた人がいたことがわかり、現在の日本の都市計画を、平面図、立面図に時間という座標軸を付加することにより、より理解を深められる本である。

都市計画をあまり知らない人には都市計画の歴史の入門書として、専門家にとっては現在の知識に新しい方向から光を当てる本として、やや値が張るが、急いで読まなければならないジャーナリスト的な本ではないので、会員間で回し読みでもしてみたいかがでしょうか。

東京会員 美濃部 雄人 Minobe Yujin

## 中部地区路面電車サミット富山大会に参加して

さる11月21日に開催された中部地区路面電車サミット富山大会に参加したので報告したい。中部地区路面電車サミットが富山市で開催されるのは初めて。ただ、本会場が富山市、懇親会場が高岡市という開催形態となり、富山市・高岡市の市民団体相互の連携や、これまでのそれぞれの取り組みが密接な関係を持っていることが象徴的に現れた大会となった。

富山市の第一会場でのメインイベントは、富山市都市整備部路面電車推進室長谷口博司氏による講演「富山市内電車環状線化事業概要」であった。全国的に実際のLRT整備事業がなかなか実現しないなか、富山市長の明確な方針、短期間で整備事業を次々実現させている実行力を実感させる、的確かつ迫力のある講演、質疑に対する応答をお聞きすることができたのが大きな収穫であった。



講演・質疑応答のなかで特に印象に残った話は、「鉄道に比べ、バスの乗客減少率が段違いに大きく、これを、鉄道を活用・再生する判断材料のひとつとして示した。」という話や、合意形成についての、「富山ライトレールの整備方針が決まってすぐ、担当部署のメンバーが手分けして沿線・市内の各地域に入り説明会を徹底して行った。説明会は市長が率先して取り組んだ。賛成の人は静かに聞いているが、反対の人は声高らかに反対を唱える。だから反対の意見が多いように見えても実際にはそういうわけではない。より多くの賛成が得られるよう、根気よく説明することが重要。また、影響を受ける商店街では費用の少なくて済む方法ではなく、工事期間の極力短くなる工法を選択することで理解を得る。さらに、税金の投入に反対する意見に対して、まず公共交通の必要性の理解を得ることが最初であり、『自分だけのことを考えないでください。子供や孫といった次の世代、隣のおばあちゃんのこと、自分が歳を取ったときなどのことも考えて判断してください。』ということも大事。バスかLRTかというのはその次の議論。」という話、あるいは、トランジットモールの実施について、「バストランジットモールは法制度上できるが、電車トランジットモールは法制度に条文がなく、実施できない。従って恒常的なものは不可能で、実施しても実験的な短期の取り組みしかできない」という話であった。そのあと、谷口室長の案内で環状線の建設工事現場を視察し、高岡の懇親会が行われる高岡会場へ向かった。

高岡会場でのメインは万葉線社員からひたちなか海浜鉄道社長に転じた吉田千秋さんの講演であった。吉田さんの話で印象的だったのは、「ひたちなか海浜鉄道の存廃問題の原因は不動産開発の失敗で、鉄道事業自体の問題ではないところで前身の茨城交通の経営問題が発生したことである。乗客数は年間70万人ながら、鉄道施設そのものはしっかりしており、安全への投資から立て直す必要がなく、立地や条件に比較的恵まれている。沿線に年間350万人の観光客が訪れる観光施設群があり、その観光客を取り込むことで乗客を増やしていくことが可能であるという、そもそも廃止する必要のない鉄道だった。全国で現在、存廃問題に直面し、あるいは今後直面するであろう鉄道が多いが、何もせず、本来必要な鉄道が廃止されるのに任せるのではなく、それぞれの鉄道が持つ条件や経営資源、将来の可能性等を、全部洗いなおしてみる必要があることを実感した。」と語っていることである。吉田さんは、「ひたちなか海浜鉄道は比較的短期間で黒字にすることは可能であり、5年程度でめどをつけたい。」と語っていたが、近い将来、北陸地方の鉄道に経営者として是非戻ってきて欲しいと強く思った次第である。

中部地区路面電車サミット富山大会は公共交通とやま市民応援団、RACDA高岡、富山県交通政策研究グループのみなさんの尽力で、小さな規模ながら充実した大会になった。次回大会は来年、豊橋で開催される。

(清水省吾)

## 中部地区路面電車サミット富山大会に参加して

先日、富山市と高岡市で「中部路面電車サミット」があり参加しました。当日は開会挨拶の後全国の動きの報告があり、続いて富山市内環状線化事業について富山市都市整備部の谷口氏の講演がありました。現在、市内路面電車の一日の利用者数は約1万人、運行は5分～10分間隔でされており、環状線化により約1.3倍にしたいと話していました。

その後、環状線化工事の現地見学をしました。富山での日程を終え、高岡市に移動。移動車内で豊橋の鈴木会長に、豊橋のおでん電車のことなどをお聞きました。高岡会場では、ひたちなか海浜鉄道の吉田社長の報告会があり、利用者はやや増えた、観光地とタイアップした乗車券の発売、駅からのバス運行といった話がありました。また、私から高校三年間定期実現を提案しました。最後に懇親会があり、たいへん収穫のあった会議でした。 (玉井秀和)

## 富山の新しい路面電車

富山市内で今、市内電車の環状化工事が終盤を迎え、12月23日に開通します。これは、現在走っているクエスチョンマーク形の路線の上部を環状化しようとするもので、『公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり』の実現を目指し、平成17年3月に富山市の主要事業に位置づけられたものです。計画発表当時、市長は2ルートを示し、どちらがいいか？ と問い掛けました。富山市長らしいやり方です。それで、両地区では、線路の綱引きも行われました。ぜひ、こっちのルートで・・・と。その後、富山城前を通るルートに決まり、平成20年3月から工事が始まりました。当面は反時計回りの単線での開業です。将来、需要があれば複線にできるように設計されています。工事は一旦始まると早いもので、見る見る間に出来上がって行きます。何の変哲も無い道路が掘り返され、路盤が固められ、コンクリート道床が置かれ、レールがはめ込まれ、樹脂で固定され、架線が張られ、屋根つき電停ができる……。週に1・2回見ていると、パラパラ漫画を見ているようですね。

そして、12月上旬、架線に電気が流され、試運転電車が走りました。もちろん新しく購入した超低床車です。前評判の悪かった真っ黒けの車両も、天気の良い日は、どっしりと落ち着いた感じで好いとの意見も。現在は乗務員の訓練が日中行われています。車のドライバーが信号機が青になったのも気づかず、電車を眺めていたのが面白かったです。ただ、万葉線、富山港線、環状線と、色が違うだけで同じ外観の車両と言うのはどうでしょう？ もう少し各線で独自の個性のあるものにしても良かったのではないかと思います。車両代は高くなると思いますが・・・(涙)

何はともあれ、富山市では平成18年のライトレール開業に続き、またまた新しい路面電車が開業します。皆さん、ぜひ乗りいらして下さい！ さらに富山市では、北陸新幹線開業に伴う富山駅高架化後、駅北のライトレールと駅南の既存市内電車との直通運転が始まり、さらには、鉄道線である上滝線(南富山～岩峯寺)のLRT化も考えています。

(報告、富山県会員・善光 孝)



作/漆寄 耕次



撮影日 091129

福井駅前に行ったときは、必ず食べる昼食はこれ。ユアーズホテル地下1階「西村屋」のお弁当。

おにぎり2個・海老のてんぷら・トマト、きゅうり、キャベツのサラダ・魚のすりみ揚げ・みそ田楽ナス・サトイモ・薄切りダイコンのしょうがあえ・おろしそばがついて800円は安い!!

もうひとつの楽しみは「サンデー毎日」。桜木図書館にもおいてあるのですが、最新号の棚はいつもカラッポの状態。競争率の低いこの店ではバックナンバーを含め5冊ほど常備しており、食後にじっくり読んでしまい、つい長居をしてしまいます。

ただ、残念なのは禁煙ではないということ。タバコの煙が非常に苦手な筆者にとって、おいしい料理をだされてもタバコの煙が漂う場所では、料理の味が半減してしまいます。

せめて、11:00~14:00ぐらいは禁煙にしてほしいですね。

編集後記・・・編集委員より一言

林(変集長)

「もっか25日のケーキ対策が頭痛の種になっています。来年も楽しい誌面を目指します。美濃部さん、漆寄さんお世話になりました。来年もよろしくね!」

内田(発行責任者)

「2009年も終わりですね。本年も毎月欠かさず・・・発行できた事うれしく思います。来年も続けるぞ!」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>